はままつじょうはっくつつうしん

浜松城発掘通信　№6

浜松市文化財課　2018 年 10 月 5 日

天守曲輪では大量の瓦が出土しています。

浜松城の発掘調査を再開してから約２ヶ月がたちました。２月の発掘調査で瓦が多く見つかった南東部において、非常に多くの屋根瓦が出土しています。

天守曲輪での調査状況　2018 年 10 月初旬の調査状況。天守曲輪南東部からは大量の瓦が出土しています。かつてこの付近に建物があったことを示すものと考えられます。今後、建物の基礎構造や、出土している瓦の時代などを詳しく調べ、どのような建物があったのか、検討を加えて参ります。

10 月 5 日現在の、浜松城天守門の発掘調査状況です。安土桃山時代に構築されたとみられる石垣の上端部と瓦が大量に埋もれている範囲が判明しつつあります。

①石墨南西隅角を確認

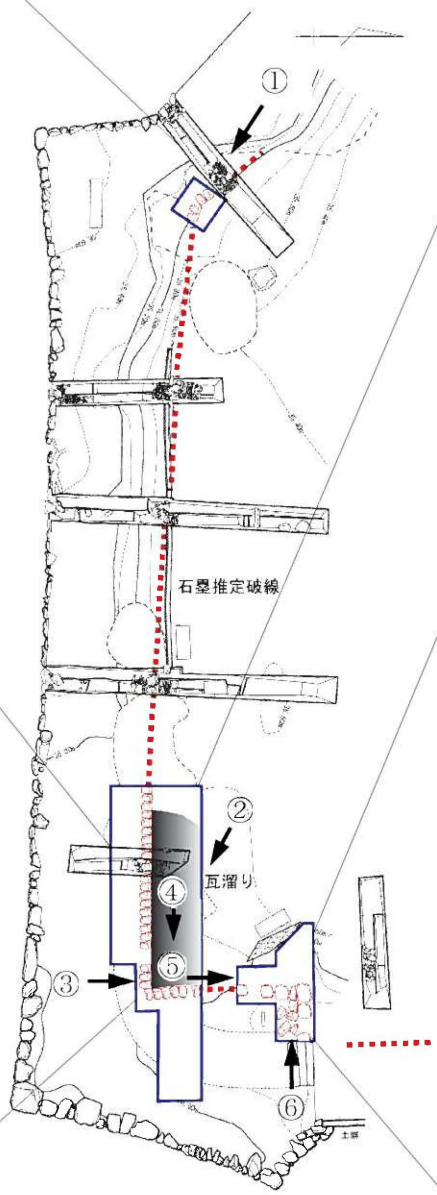
④鯱瓦出土状況

②石墨及び瓦溜りを確認

⑤石墨隅角を確認

③石墨南東隅角を確認

⑥石墨隅角を確認



※矢印は撮影方向

浜松城の発掘調査は平日の午前８時 30 分から午後４時までの作業時間内において、安全柵の外側から作業状況を見学いただけます。また、11 月３日（土）、４日（日）は発掘調査の現地説明会を行います。

浜松市文化財課　TEL　053-457-2466